

こうち就職氷河期世代活躍支援プラン

令和2年11月

(令和3年5月 改訂)

(令和4年5月 改訂)

こうち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム

目次

はじめに	1
1. こうち就職氷河期世代活躍支援プランの期間及び進捗管理	2
2. 支援対象者	2
3. 高知県の現状と目指すべき方向性	3
4. 目標、取組及びKPI	4
(1) 不安定な就労状態にある方.....	4
(2) 長期にわたり無業の状態にある方.....	7
(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）	9
(4) 全支援対象者.....	11
5. こうち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと市町村プラットフォームとの連携.....	12
6. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金の活用.....	12
7. 実態調査結果（概要）	13

はじめに

- いわゆる就職氷河期世代（概ね1993年（平成5年）～2004年（平成16年）に学校卒業期を迎えた世代を指す。以下同じ。）は、現在、30代半ばから40代半ば（2020年4月1日現在、大卒で概ね38歳～49歳、高卒で概ね34歳～45歳）に至っているが、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にある、社会参加に向けて支援を必要とする状態にあるなど、様々な課題に直面されている方がいる。
- このように、就職氷河期世代への支援は喫緊の課題であることから、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2019」（令和元年6月21日閣議決定）において就職氷河期世代の活躍促進に向けた取組をとりまとめるとともに、厚生労働省においても、厚生労働大臣を本部長とする「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部」において、「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」（令和元年5月29日とりまとめ。以下「厚労省支援プラン」という。）を策定し、就職氷河期世代が抱える固有の課題や今後の人材ニーズを踏まえつつ、個々人の状況に応じた支援により、正規雇用化をはじめとして、同世代の活躍の場を更に広げられるよう、3年間で集中的に取り組むこととしている。
- 高知県においては、厚労省支援プランに基づき、県内の関係機関（経済団体、労働団体、支援機関、行政）を構成員とし、県内の就職氷河期世代の活躍支援策をとりまとめ、進捗管理等を統括する「こうち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「県プラットフォーム」という。）を令和2年6月30日に設置した。

については、県プラットフォームにおいて策定された「こうち就職氷河期世代活躍支援プラン」（以下「こうち支援プラン」という。）に基づき、就職氷河期世代の方々の活躍の場が更に広がるように、県内の社会気運を醸成し、好事例の横展開を図るとともに、各界が一体となって、取組を継続的に推進していくこととする。

1. こうち就職氷河期世代活躍支援プランの期間及び進捗管理

- (1) こうち支援プランの期間は、令和2年11月27日～令和5年3月31日とする。
- (2) こうち支援プランの着実かつ効果的な推進を図るため、毎年度、県プラットフォーム設置要領の5に規定する会議を開催し、関係機関の取組や進捗状況を把握するとともに、その取組の進捗を踏まえた今後の施策展開の方向性等を協議する。
なお、その進捗状況等を踏まえ、必要に応じてこうち支援プランの内容の見直しを行う。

2. 支援対象者

こうち支援プランにおいては、厚労省支援プランで示された、次の(1)～(3)に掲げる方々を支援対象者とし、正社員就職に向けた支援のほか、有期雇用を含めた就労に向けた支援や社会参加のための各種支援を実施する。また、就職氷河期世代一人ひとりにきめ細かな支援メニューが届けられるよう、積極的な広報も実施する。

(1) 不安定な就労状態にある方

- ・正規雇用を希望しながら不本意に非正規雇用で働いている方
- ・前職が非正規雇用で、正規雇用を希望する失業中の方など

(2) 長期にわたり無業の状態にある方

- ・無業の方のうち求職活動をしていない方で、家事も通学もしていない方など

(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）

- ・ひきこもりの状態にある方、生活困窮に陥っている方など、就労支援だけでなく、保健医療や福祉的な支援を必要としている方

3. 高知県の現状と目指すべき方向性

- (1) 高知県内における支援対象者の現状については、総務省の「就業構造基本調査（2017年）」^{*2}を基にした推計によると、「不安定な就労状態にある方」3,500人、「長期にわたり無業の状態にある方」1,703人となっている。
また、「社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）」については、支援対象者個人ごとに抱える事情や状態が異なり、すぐに就労に向かうことが本人にとって望ましいとは限らないことや、就労支援の対象として数量的にとらえることが難しいことから、推計対象とはしていないが、今後、こうち支援プランの期間内に支援対象者の実態やニーズを明らかにしていくこととする。
- (2) こうした支援対象者の当面の目標は、働くことや社会参加など多様であり、また生活の基盤を置く地域の実情も多様であることから、個々人の状況に応じたきめ細かな支援メニューを積極的に届けていくことが重要である。
そのため、支援対象者やその家族の置かれている状況やニーズをしっかりと把握し、社会全体として取り組む気運を醸成し、支援の実効性を高める必要がある。
- (3) 支援対象者である「不安定な就労状態にある方」、「長期にわたり無業の状態にある方」、「社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）」は明確に区分できない場合も想定され、その状態も時とともに変化していくものであることから、支援対象者とその家族を中心とした柔軟できめ細かな支援を行うためには、関係機関が連携して、多様で複合的な課題やニーズに対応する必要がある。
- (4) これらを踏まえ、支援対象者に必要な支援が届く体制を構築し、就職や正社員化の実現、社会参加の実現につなげるため、県プラットフォームのみならず、他の関係機関とも連携して取り組んでいくこととする。

4. 目標、取組及びKPI※1

(1) 不安定な就労状態にある方

【目標】

現状よりも良い処遇を目指すため支援対象者の正規雇用者数を2,000人※2増やすことを目標とする。

【取組】

① 相談体制の整備・充実

ア ハローワーク高知に「就職氷河期世代専門窓口」を設置し、専門担当者で構成するチームによる個別支援のマッチング促進及び職場定着を図る。

【高知労働局、高知公共職業安定所】

イ 高知県が設置する高知県就労支援相談センター（以下「ジョブカフェこうち」という。）の支援対象年齢を引き上げるとともに、担当制のキャリアコンサルタントによる相談から、就職、職場定着まで一貫した、きめ細かな伴走型の就職支援を行う。

【高知県商工労働部】

ウ 国と県の業務を一体的に実施する「ジョブセンターほんまち」、「若者相談コーナー」及び「ジョブカフェこうち」において、カウンセリングから職業紹介、就職後のフォローアップまでのサービスをワンストップで提供する。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県商工労働部】

エ 「ハローワーク高知マザーズコーナー」及び「高知家の女性しごと応援室」による個別相談、就職支援セミナー、職業紹介や職場定着支援を実施する。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県子ども・福祉政策部】

オ 高知県社会福祉協議会内に設置する「高知県福祉人材センター」において、求職者のニーズに合わせたマッチング支援を行うとともに、「ふくし就職フェア」で対面やオンラインによる面接会を実施して就職支援を行う。

【高知県子ども・福祉政策部、高知県社会福祉協議会】

② 職業訓練の実施・強化、スキルアップ支援

ア 就職氷河期世代の方に向け、個々人のニーズに応じた公共職業訓練に関する

※1 KPI：重要業績評価指標（Key Performance Indicator）の略。目標の進捗を把握するための指標。

※2 総務省「就業構造基本調査（2017年）」等より
「不安定な就労状態にある方」高知県 3,500人／全国 541,700人×100≒0.65%
30万人（国の目標）×0.65%≒2,000人（高知県の3年間の目標）

情報提供、アドバイス及び受講あっせんを行う。

【高知労働局、高知公共職業安定所】

イ 離職者、求職者、在職者それぞれのニーズに対応し、安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公共職業訓練の実施やセミナー等によるスキルアップや新たなキャリアへの挑戦を支援する。

なお、訓練コース等の設定に当たっては、正社員就職のために資する内容とするよう配慮する。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県商工労働部、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、高知県市長会】

ウ ジョブカフェこうちにおいて、個々人の状況に応じて、これまでの少人数セミナーや、福祉的手法を取り入れたグループワーク（集団内での人間関係調整などを通じた自尊心の形成等）の座学と併せ、ミスマッチのない正社員就職を目指した職場体験や、小さな達成感を積み重ねる職場トレーニングとなるジョブチャレンジを行う。

【高知県商工労働部】

③ 就職、正社員への転換支援

ア 支援対象者に対するマッチングイベント（企業の説明会、就職面接会、職場見学会・体験会、セミナー等）を開催（後援・共催を含む）する。また、関連機関が開催するものを含めこうしたマッチングイベントに、支援対象者を誘導する。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県市長会】

イ 特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）、キャリアアップ助成金、トライアル雇用助成金等の企業支援策の周知に努め、その活用による就職氷河期世代の正社員就職及び正社員転換を促進する。

【高知労働局、高知公共職業安定所】

ウ 企業における就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）、マッチングイベント等の取組について、業界団体や企業等へ要請を行うとともに、好事例の収集・提供など必要な支援を行う。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県商工労働部】

エ 企業における就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等の取組を促進する。また、それらの取組に必要な施策を県プラットフォームに提案する。

【高知県商工会議所連合会、高知県商工会連合会、高知県中小企業団体中央

会、高知県経営者協会】

【KPI】

	項 目	KPI
①	ハローワーク紹介による正社員就職者数 【取組】①ア、エ	1,700人
②	キャリアアップ助成金活用による正社員転換数 【取組】③イ	300人
③	職場体験講習受講者の正社員就職率 (ジョブカフェこうち) 【取組】①イ、②ウ	70% (36人)
④	ジョブチャレンジ受講者の就職率 (ジョブカフェこうち) 【取組】①イ、②ウ	30% (10人)
⑤	高知家の女性しごと応援室新規登録者数 (女性しごと応援室) 【取組】①エ	370人
⑥	高知家の女性しごと応援室相談延べ件数 (女性しごと応援室) 【取組】①エ	1400件
⑦	高知家の女性しごと応援室就職(正規)決定者数 (女性しごと応援室) 【取組】①エ	45人
⑧	高知家の女性しごと応援室求人開拓員による訪問企業数 (女性しごと応援室) 【取組】①エ	400件
⑨	訪問企業への就職氷河期世代の高知家の女性しごと応援室就職(正規)決定数 (女性しごと応援室) 【取組】①エ	10人

(2) 長期にわたり無業の状態にある方

【目標】

「こうち・なんこく・はた若者サポートステーション」（以下「サポステ」という。）を中心に、関係機関と連携しながら、本人の状態に合った支援を行い、職業的自立につなげる。

【取組】

① 相談体制の充実

ア サポステの支援対象を就職氷河期世代まで広げるための機能強化を図るとともに、専門相談員によるカウンセリング、セミナーの実施等により、支援対象者の職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。

また、遠隔地からの相談に対応するためのオンライン相談の整備を行う。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県教育委員会】

イ 生活困窮者自立支援制度の自立相談支援機関（以下「自立相談支援機関」という。）、福祉事務所、高知県ひきこもり地域支援センター等、福祉関係機関を訪問し、サポステ利用への誘導を行う。また、この他にも登録者に対する訪問支援などのアウトリーチ型支援を行う。ハローワーク、ジョブカフェこうち等との連携により、個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援につなげる。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県商工労働部、高知県子ども・福祉政策部、高知県教育委員会】

② 職場体験・見学、就労に向けた支援

ア 支援対象者に対する就職準備セミナー、職場見学・体験等を開催する。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県商工労働部、高知県子ども・福祉政策部、高知県教育委員会】

イ ジョブカフェこうちにおいて、個々人の状況に応じて、これまでの少人数セミナーや、福祉的手法を取り入れたグループワーク（集団内での人間関係調整などを通じた自尊心の形成等）の座学と併せ、ミスマッチのない正社員就職を目指した職場体験や、小さな達成感を積み重ねる職場トレーニングとなるジョブチャレンジを行う。

また、就職氷河期世代の雇用に協力的な県内企業を積極的に開拓し、就職氷河期世代チャレンジ応援団の企業ネットワークを構築することにより、ジョブチャレンジの受入企業の裾野を広げるとともに、ジョブチャレンジを通じて就職につなげる。

【高知県商工労働部】

ウ 長期にわたり無業の状態にある方を対象とした職場開拓支援など受入体制

整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等の取組について、業界団体や企業等へ要請を行うとともに、好事例の収集・提供など必要な支援を行う。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県商工労働部、高知県子ども・福祉政策部、高知県教育委員会】

工 長期にわたり無業の状態にある方を対象とした職場定着支援など、企業における受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等の取組を推進するとともに、それらの取組に必要な施策を県プラットフォームに提案する。

また、就職氷河期世代チャレンジ応援団の企業ネットワークづくりに向けた取組を推進する。

【高知県商工会議所連合会、高知県商工会連合会、高知県中小企業団体中央会、高知県経営者協会】

【KPI】

	項 目	KPI
①	相談延べ件数（サポステ） 【取組】①ア、イ	1,300 件
②	新規登録者数（サポステ） 【取組】①ア、イ	85 人
③	就職（正規・非正規）決定者数（サポステ） 【取組】①イ、②ア	32 人
④	進路決定者数（③を除く）（サポステ） ＊進路決定者とは、リファー（他機関への引継ぎ）や高卒認定を取得された方などのことをいう。 【取組】①イ、②ア	5 人
⑤	ジョブチャレンジ受講者の就職率 （ジョブカフェこうち）【再掲】 【取組】①イ、②イ	30% (10 人)
⑥	就職氷河期世代チャレンジ応援団参加企業数 （ジョブカフェこうち） 【取組】②イ、ウ、エ	125 社

(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）

【目標】

本人やその家族の希望に応じ、市町村における居場所の整備、そのほか支援対象者の状態に応じた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりが生まれることを目標とする。

【取組】

① 課題やニーズの把握

令和2年度に県が実施したひきこもり実態把握調査の結果（13ページ）などを踏まえ、ひきこもりの状態にある方やその家族が抱える課題やニーズを把握し、地域での支援につなげる。

【高知県子ども・福祉政策部、高知県市長会・高知県町村会（市町村）】

② 市町村の包括的な支援体制構築に向けた支援

ア ひきこもりの方等やその家族が抱える複合的な課題を解消するため、地域の多機関の協働による支援体制（以下「市町村プラットフォーム」という。）づくりを支援する。

【高知県子ども・福祉政策部、高知県社会福祉協議会、高知県市長会・高知県町村会（市町村）、各市町村社会福祉協議会】

イ 地域における関係機関の協働による取組を活性化するため、好事例の横展開などの積極的な協力を行う。

【高知県子ども・福祉政策部、高知県社会福祉協議会、高知県市長会・高知県町村会（市町村）、各市町村社会福祉協議会】

③ 伴走型支援の充実や窓口の多様化

ア 自立相談支援機関に、訪問による相談支援を行うアウトリーチ支援員を配置するなど、訪問支援体制を強化する。

【高知県子ども・福祉政策部、高知県社会福祉協議会、高知県市長会・高知県町村会（市町村）、各市町村社会福祉協議会】

イ 相談窓口の多様化を図るため、専門職による相談支援機関に加え、ひきこもり元当事者等（ピア）による相談支援窓口を設置する。

【高知県子ども・福祉政策部】

ウ 高知県ひきこもり地域支援センターにおいて、市町村の窓口や関係機関に対する専門的なアドバイスを行うとともに、家族支援のためのセミナーや相談会の開催などの支援を行う。

【高知県子ども・福祉政策部】

④ 支援に係る人材の育成、資質向上

自立相談支援機関の相談支援員の養成研修や、高知県ひきこもり地域支援センターによる支援者向けの研修会などにより、支援に係る人材の育成、資質の向上を図る。

【高知県子ども・福祉政策部、高知県社会福祉協議会、高知県市長会・高知県町村会（市町村）、各市町村社会福祉協議会】

⑤ 多様な社会参加に向けた支援

ア 地域の社会資源を活用し、ひきこもりの方等の居場所の拡大を図る。

【高知県子ども・福祉政策部、高知県社会福祉協議会、高知県市長会・高知県町村会（市町村）、各市町村社会福祉協議会】

イ ひきこもりの方等に係る就労体験等の機会確保及び受入体制整備について、業界団体や企業等へ要請を行うとともに、好事例等の収集・提供など必要な支援を行う。

【高知労働局、高知公共職業安定所、高知県子ども・福祉政策部、高知県教育委員会】

ウ ひきこもりの方等に係る就労体験等の機会確保及び受入体制整備に係る取組を推進する。また、これらの取組に必要な施策を県プラットフォームに提案する。

【高知県商工会議所連合会、高知県商工会連合会、高知県中小企業団体中央会、高知県経営者協会】

【KPI】

	項 目	KPI
①	ひきこもりに関する新規相談件数(ひきこもりピアサポートセンター) 【取組】②ア、③ア、イ、ウ、④、⑤ア	105 件
②	ひきこもりに関する延べ相談件数(ひきこもりピアサポートセンター) 【取組】②ア、③ア、イ、ウ、④、⑤ア	1,575 件
③	ひきこもり当事者の居場所等への参加や関係機関による対応に繋がった件数(ひきこもりピアサポートセンター) 【取組】③ア、イ、ウ、④、⑤ア	80 件

(4) 全支援対象者

【取組】

① 社会気運の醸成

ア 高知労働局が中心となって、県プラットフォームの取組を、市町村や各団体の構成企業等へ積極的かつ一体的に広報することにより、社会全体で就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る。

【全構成員】

イ 支援対象者一人ひとりやその家族に、各種支援策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、高知労働局が中心となって、あらゆる手段（HP、メディア、SNS、WEB、イベント開催等）を活用した、広報を展開する。

【全構成員】

② 多様な働き方の推進

くるみん等の認定制度やワークライフバランス推進企業認証制度の普及拡大を通じた、働き方改革やワークライフバランスの浸透・定着により、多様な働き方の推進を図る。

【高知労働局、高知県商工労働部】

③ 雇用機会の創出促進

企業誘致や交流人口の拡大、移住者の増加などにつなげるために、受け皿となるシェアオフィス等の施設を整備し、新しいビジネスや雇用の創出につなげる。

【高知県商工労働部】

④ 地方公務員の中途採用の促進

地方公務員の中途採用について、県での採用試験の実施とその周知を図るとともに、市町村に対して採用試験の積極的な実施を依頼する。

【高知県総務部】

⑤ 実態やニーズの把握

県において支援対象者の就業状況等に関する実態調査を行い、その結果を県プラットフォームにおける支援策の検討に活用する。

【全構成員】

5. こうち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと市町村プラットフォームとの連携

- 県プラットフォームにおいて、市町村プラットフォームの効果的かつ円滑な運営のため、好事例等の就職氷河期世代支援に関する情報について収集し、市町村プラットフォームとの情報共有及び連携を図る。

6. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金の活用

- 内閣府の「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」を活用した事業については、別紙1のとおり。

7. 実態調査結果（概要）

- 就職氷河期世代実態調査の結果（概要）

【高知県商工労働部】

別紙2のとおり

- ひきこもり実態把握調査の結果（概要）

【高知県子ども・福祉政策部】

別紙3のとおり

【別紙1】 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

＜実施主体：高知県＞

NO	事業名	事業の概要	計画期間
1	就職氷河期世代活躍支援事業	<p>ジョブカフェこうちにおいて、就職氷河期世代の支援対象者の掘り起こし、支援機関への誘導、キャリアコンサルタントによる相談、対象者の個別状況に応じた仕事体験、就職・職場定着まで一連かつ切れ目のない就労支援を伴走型で行い、正規雇用につなげる。</p> <p>支援策の検討材料とするため、当該世代の就業状況等に関する実態調査を実施する。</p>	令和2年度～令和4年度
<p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①職場体験講習受講者の正社員就職率：70% ②ジョブチャレンジ受講者の就職率：30% ③就職氷河期世代チャレンジ応援団参加企業数：125社 			
2	就職氷河期世代のひきこもり対策推進事業	相談窓口の多様化を図るため、就職氷河期世代の元ひきこもり当事者が中心となったピアサポーターによるひきこもりの人や家族へのピア相談、アウトリーチ型の訪問支援等を行い、職業的自立につなげる。	令和2年度～令和4年度
<p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ひきこもりに関する新規相談件数：105件 ②ひきこもりに関する延べ相談件数：1,575件 ③ひきこもり当事者の居場所等への参加や関係機関による対応に繋がった件数：80件 			

NO	事業名	事業の概要	計画期間
3	若者サポートステーション事業に係る就職氷河期世代支援	若者サポートステーションにおいて、アウトリーチ型支援、オンライン相談・各種セミナーの実施、職場体験の提供等により、長期間無業状態やひきこもり傾向にある就職氷河期世代の方の就職等を目指す。	令和2年度～令和4年度
<p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相談延べ件数：1,300件 ②新規登録者数：85人 ③就職（正規・非正規）決定者：32人 ④進路決定者（③を除く）：5人 			
4	高知家の女性しごと応援室に係る就職氷河期世代支援	働きたいと考えるすべての女性を対象に、求職者の掘り起こしや一人ひとりのニーズに沿った就労支援、働きやすい職場環境づくりに向けた企業支援に取り組む。また、令和3年度より心理師による心理的サポートを実施することで、就職がうまくいかずに悩む方や、就職決定後の困りごとを抱える就職氷河期世代の方にとって、有効な支援を行う。	令和3年度～令和4年度
<p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新規登録者数：370人 ②相談延べ件数：1400件 ③就職（正規）決定者数：45人 ④訪問企業数：400件 ⑤訪問企業への就職（正規）決定者数：10人 			

<実施主体：黒潮町>

NO	事業名	事業の概要	計画期間
5	就職氷河期世代活躍応援事業 (ひきこもり支援事業)	町内の就職氷河期世代のひきこもりの方等を対象に実態把握調査を行い、本人の状況等に合わせた個別支援や就労訓練の提供等により、就労につなげる。	令和2年度～ 令和4年度
<p>【KPI】</p> <p>①調査結果を踏まえた支援対象者の選定：15人</p> <p>②アプローチにより関係機関に繋がった人数：15人</p> <p>③チャリティショップに参加できた人数：10人</p>			

<実施主体：高知市>

6	就職氷河期世代支援事業（若者就職応援事業）	情報活用能力育成セミナー（プログラミング初級編）を開催し、セミナー受講者を「企業合同説明会」等（高知労働局や高知市雇用創出促進協議会による主催）への参加を誘導し、また、高知市無料職業紹介所に引継ぎ、専任のキャリアコンサルタントによる就労支援を行い、就労につなげる。	令和3年度～ 令和4年度
<p>【KPI】</p> <p>①情報活用能力育成セミナーへの参加者数：50人</p> <p>②情報活用能力育成セミナー参加者のうちの就職者数：15人</p> <p>③情報活用能力育成セミナーの就職者のうちの正規雇用就職者数：8人</p>			